龍灯

第 79 号

発行所　大阪市史跡 龍渓禅師墓所　霊亀山 九島院
〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号
TEL 06(6583)2725　FAX 06(6583)0908

発行者　第廿五代住職　奥田啓知（智證）

当院は、阪神なんば線で、なんばから7分です。

『九島院の謎に迫る（その二）』

～興禅庵と九島院～

当院最古の檀徒であり、歴代にわたって総代を勤められた一柳家の過去帳を精査して、当院の歴史の謎の一端が判りました。

過去帳は5日の半分以前は欠損していましたが、奥付に『摂津州西成縣九條邑法輪山興禅菴常住靈會亀鑑　寛政元巳酉臘月十八日當庵第八代慧性新添』とあり、和尚名にまじって一柳家のご先祖の戒名が墨書されていました。

一柳家の先代の元太郎氏は生前「興禅菴は当家の先祖が住していたもので、当院の敷地も一柳家の提供によったものである」と云われていました。

九島院の草創は、大坂最古の名所記である『蘆分船』に龍渓禅師庵として小さい草庵の図をのせ、『九条村絵図』に「屋敷五歩、興禅庵大随」とあるのが始まりであり、その後衢壌島開発に際して発展し、拙道和尚を迎えたが、拙道は師にあたる龍渓禅師を迎えて開山としたと考えられていました。

しかし、大随和尚は当家の過去帳に、寶暦十一年(一七六一)十一月十五日に示寂と記され、慶瑞寺文書の「慶瑞寺末寺七箇寺　覚　一、摂州西成郡九条嶋村九嶋庵　一、三捨年前寛文三年（一六六三）葵卯年建立　一、開基龍渓和尚　一、年貢地四敏弐捨歩　慶瑞より兼帯右之通相違御座無く候仍後証の為件の如し　元禄五年壬申月日　富田慶瑞寺住持　永泰」と矛盾し、九島院も興禅菴も別個に存在していたようです。また、過去帳の奥付から、少なくとも興禅菴は寛政元年（一七八九）には存在していたことが判ります。

当院と興禅菴の草創については不詳ですが、各々別処にあった二ケ寺が合併したようで、正徳三年（一七一三）院地替えで、当院は現在地に移転してきました。先々代榮忠和尚著『當院記録』に第六世雄峯和尚の段ー屋敷替ノ為メ田地入質ナシ金子借用セシ書類有之・と借用証文の写しと第七世大拙和尚が亨保九年（一七二四）返却した旨記述あり、また、日本名刹大辞典に同様の記載も有ります。

九島院の旧地は、九條村絵図に記載がなく判然としませんが、新川（安治川）の開削により余儀なく移転したのなら、新川寄りにあったのではないか推察できます。九条第一小学校五十年誌（大正14年発刊）には、元禄八年（一六九五）九条村絵図の書人に、九条村の家数の内、貳軒として慈雲院（現在の善源寺）と奥禅院が記載され、九島院とは別に数えられており、この奥禅院が興禅菴と推定されます。黄檗末寺帳には興禅菴の記載はありませんが、村では九島院の奥院として認知されていたのでは、過去帳には九島院歴代和尚の名もあり、黄檗宗末寺の九島院の奥院として存在したのかもしれません。

興禅菴のその後の盛衰について不明ですが、一柳分家筋には黄檗寺院の証拠として、龍渓禅師の画像が伝わっており、先代和尚の時、九島院に奉納されています。一柳家と興禅菴については、次号で考察したいと存じます。

寛政版　摂津名所図会より

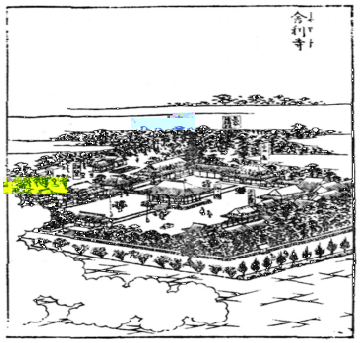
墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

黄檗宗寺院巡り③（大阪市内編）

南岳山　舎利尊勝寺　（住職作）

生野区舎利寺一丁目にあります。正式名称は南岳山舎利尊勝寺といって、聖徳太子が造営した生野長者ゆかりの黄檗宗の古刹です。

太子が四天王寺建立のあと法隆寺とこの舎利寺を建立しました。山号の南岳山は、太子が南岳太子といわれたことに由来します。建立当時、生野の里に住んでいた生野長者がいましたが不幸にして、その子は生まれつき言葉が話せず、父母は大いに悲嘆し、日夜神仏に祈願していました　長者は思い悩んだすえ、四天王寺にお参りをして聖徳太子にすがったところ、太子は



だるまさん、集めてます。ご不要なだるまさん（置物など）お寺へ譲ってください。

檀信徒の皆さまへ

第二十一回　修養会

開催日　十一月三日(祝)
天　気　雨のち曇り
参加者　二十六名

秋晴れの最高の天気のもと、東住吉区にある真言宗泉涌寺派の法樂寺さんへ拝塔。その後、堺市内のさかい利晶の杜、南宗寺、仁徳天皇陵、堺伝統産業会館へ。昼食はたこ昌さんの竹粋亭へ。近場ではありましたが、とても満喫できた旅となりました。来年の予定は未定ですが、お檀家さんやお友達との親睦を深めれる様な行事を企画をしたいと考えております。（副住職）

黄檗宗 第62代 近藤博道 管長猊下 晋山式挙行

本年10月27日　大本山萬福寺にて第62代管長猊下の晋山式が挙行されました。各派管長や関係者ら約600人が祝った。

近藤博道管長猊下は駒澤大卒。黄檗宗教学部長、宗会議長、禅堂師家などを務めた。先代管長猊下 岡田亘令師の死去に伴い、本年3月25日に管長に就任した。

この日の式典では、法堂（はっとう）に入堂した近藤師が管長のみに許される袈裟（けさ）をまとい、国家の安寧を祈り、教えを広めていくことを宣言する『祝国開堂』の言葉を述べられ、教えを請う宗門僧侶との間で禅問答が行われました。

永代供養墓『大亀地蔵尊』は生前でもお申込できます。おひとり様でも安心して入れるお墓です。

行事報告

- 6/28 **はじめての坐禅**（5回目）　参加者4名
- 8/19 **水灯会**（お施餓鬼法要）　参加者40名
- 8/22 **地蔵盆子ども会**（7回目）　参加者95名
- 8/23 **大亀地蔵尊　地蔵盆回向**　参加者10名
- 9/26 **写経会**（13回目）　参加者9名
- 11/1 **お寺deヨガ**（11回目）　参加者14名

行事予定

- 12/31 **坐禅と除夜の鐘**
- 2/11 **写経と精進料理の夕べ**（主催：大阪市仏教青年会）四天王寺客殿を利用しての写経会です。参加費三千円。
- 2月頃 **はじめての坐禅**（予定）
- 3/23 **山門会**（春のお彼岸法要）
- 5/15 **お寺deヨガ&ミニバザー**

※その他、新たな行事を計画中。詳しくは、ホームページもしくは、Facebookページを見てね！

平成28年 年忌早見表

年忌	寂年	年忌	寂年
1周忌	平成27年	17回忌	平成12年
3回忌	平成26年	25回忌	平成4年
7回忌	平成22年	33回忌	昭和59年
13回忌	平成16年	50回忌	昭和42年

12/31 坐禅と除夜の鐘
～大晦日の恒例行事～

23時 坐禅開始
23時40分頃 鐘つき開始
誰でも参加できます！

facebook（フェイスブック）はじめました。ご覧ください。

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

訃報

○九島院檀家総代　梶山清三氏逝去
（平成廿七年十月廿五日）

平成十五年七月廿六日より当院の総代（世話人）・責任役員を勤めて頂きました。故人のご冥福をお祈りし、厚く御礼申し上げます。

奉納抄

○ご念持佛奉納　（平成廿七年十一月二日）

山根志ずゑ様ご遺族より、掛軸十本、色紙六枚、短冊四枚を頂きました。

編集後記

▼残念ながら本年度のユネスコ世界記憶遺産に『鉄眼一切経』は落選しました。かわって『南京虐殺に関する資料』が選定されました。

▼「歴史は公認された嘘である」とは高名なイギリスの歴史学者アーノルド・J・トインビーの言葉です。

▼今回、拙寺最古の檀家一柳家の霊簿を精査して色々な事が判りました。歴史的事実という点と当時の社会情勢という線を考慮して、大局から考察するという作業には困難が伴いますがそこにはロマンがあります。

▼しかし、ロマンが政治的に利用され事の本質から遠ざかるのは問題です。

▼生きている以上、生活の軌跡は積み重なるもので、ロマンに流れないよう事実を文章その他に残す必要があります。本年、各家の軌跡を児孫に残され記録される事をお勧めします。

▼一柳家と興禅院の顕彰碑を建てるべく準備しています。

（住職記す）

▽ランニングシーズン到来です。11月に淀川市民マラソンに出場。自己新記録の3時間44分で完走。12月には宝塚ハーフマラソンに出場します。

▽今秋で結婚10年を迎える事ができました。子どもたちもすくすくと成長してくれています。

▽次なる20年に向けて、マラソン同様に走り続けます。

（副住職記す）

●盲導犬の殉職●

今秋１０月３日、盲導犬ヴァルデス号が殉職しました。視覚障害を持つマッサージ師の山崎衛二さん(50)がバックしてきたトラックにはねられ死亡し、一緒にいた盲導犬ヴァルデス号も巻き添えで亡くなりました。

ヴァルデス号は、我家の盲導犬たちと同じ、日本ライトハウスの盲導犬訓練所の出身だっただけに人ごととは思えませんでした。

事故は徳島市新浜町の町道でおきました。山崎さんは出勤のため、左側にヴァルデスを従えて歩いていたところ、右前方からバックしてきたトラックにはねられ死亡、ヴァルデスもユーザーの山崎さんのそばで息絶えました。

事故の原因は、バックの際に「バックします」と音声で知らせる警報装置が付いていましたが、スイッチが切られていたため、盲導犬ヴァルデス号が危険を察知できなかったからだと言われていました。

盲導犬といっても万能のスーパー犬ではないのです。ユーザーと一体となって危険を回避しなければなりません。警報音がなく、山崎さんが車の接近に気づいたときにはすでに遅く、ヴァルデスが危険を察知し山崎さんを誘導しようとしましたが、間に合わなかったのではないかと協会は言っています。

年１０回以上、県内の小中学校で講演し、視覚障害者や盲導犬への理解を呼びかけていた山崎さん、事故当日ヴァルデスは１０歳で、引退日の８日前でした。引退後は同県石井町で余生を引退犬ボランティアのもとで送ることとなっていました。

我家の引退犬クワンは、悠々自適いや悠々他適の引退生活を満喫しています。この前も、ドライブでの犬散歩へ出かける時、喜びはしゃいで部屋のドアーにぶつかり、ドアのガラスを破ってしまい、お母さんにどやされていました。ヴァルデスちゃんと山崎さんのご冥福をお祈りします。

お知らせ

◎のぼり奉納の募集◎

１旗　金２千円

『南無観世音菩薩のぼり』を入れ替えます。
1年間境内に掲げます。昨年同様、お施主さんを募集いたします。為書きと施主名を墨書します。
ご希望の方は、寺務所までお声かけ下さい。

九島院のフェイスブックページを作りました！検索してみてね！